

※重要

施工会社様へ

この資料は、必ずお施主様へお渡しください。お手入れの方法を記載しています。

スケッチペイントメンテナンスについて

アフターメンテナンス要領

スケッチペイントを末永くご使用いただけますよう、ご使用における注意事項ならびにメンテナンス方法について説明させていただきます。

注意事項：スケッチペイントは、壁面に簡単にマーカーで書き消しが出来る機能壁面を創ることが出来ます。商品特性上ローラー塗装で仕上げますので市販のホワイトボードに比べ表面に凹凸が出来てしまいます。従いまして通常のホワイトボード用イレーサーでは凹部分が消しづらくなります。メガネ拭きや食器拭きに使用するマイクロファイバークロス（以下イレーサークロスと呼称します）・起毛イレーサー等凹凸面にフィットするイレーサーをご使用頂きますと消去性が高まります。

メンテナンス方法：

通常のお手入れは、きれいなイレーサークロスで水拭きと乾拭きで十分です。

スケッチペイントは、使用環境によっては、表面が著しく汚染したり消去性が悪くなる場合が有ります。以下の原因とメンテナンスをご参考にしてください。

消去性低下の原因：

- 1：古くなったマーカー（描書した文字がかすれたり、色が薄くなった状態）は、インク成分のバランスが悪くなるため通常使用時に於いても消えが悪くなる場合があります。
- 2：長時間の書置きおよび日光や冷暖房の排風が当たる場合は消えが悪くなる場合があります。
- 3：古くなったイレーサークロス（繊維の擦り切れ、破れ）、マーカー粉塵が多量に付着したイレーサークロスを使用しますと消えが悪くなります。
- 4：表面を酸、アルカリ等の薬品や中性洗剤で清掃しますとマーカーの消えが極端に悪くなります。

メンテナンス：

- 1：描書した文字がかすれたり、色が薄くなったマーカーは新しいマーカーにお取替えてください。
- 2：繊維が擦り切れ、破れたイレーサークロスは新しいものと交換してください。また、著しく汚れたイレーサークロスは一度水洗いをして十分に乾燥したきれいなものをご使用ください。
- 3：酸、アルカリ等の薬品や中性洗剤による清掃はおやめください。

汚染時のアフターケア方法：

- 1：表面をきれいなイレーサークロスで水拭きした後、乾いたイレーサークロスで乾拭きし水シミが無くなるようにふき取ってください。
- 2：上記メンテナンスで汚れが取れない場合は、市販のアルカリ電解水等でクリーニングしてください。市販のエタノール（99.9%）もより有効です。尚、汚れたイレーサークロスや中性洗剤等のご使用は、逆に汚染しやすくなりますので、ご使用はお控えください。
- 3：イレーサークロスが著しく汚れた場合は、水洗い後十分に乾燥させ、きれいなものをご使用ください。

マグネット吸着力：

スケッチペイントの塗装面は滑りが良いためマグネットペイントの上塗りとしてご使用された場合、一般的な水性ペイントを上塗りした場合と比べて掲示物保持力が多少弱くなります。

【特記】

筆記具につきホワイトボード専用マーカー以外はご使用しないでください。
掲示物を貼る場合、強粘着テープ等はご使用しないでください。
インク汚れの除去に研磨剤（メラミンスポンジ等）をご使用しないでください。

947191219-1

※重要

施工会社様へ

この資料は、必ずお施主様へお渡しください。市販ホワイトボードとの違いを記載しています。

スケッチペイントについて

スケッチペイントを末永くご使用いただけますよう、市販ホワイトボードと弊社スケッチペイント仕上げとの仕上がり感の違いについて説明させていただきます。

スケッチペイントは、壁面に簡単にマーカーで書き消しが出来る機能壁面を創ることが出来ます。

工場製造のホワイトボードと違い現場での塗装製作のため、シームレスにどこまでも広げることが可能となり、どのようなデザインでも対応可能で平面に限定されることなく曲面など幅広い空間対応が可能となります。

しかしながら、現場でローラーにて塗装仕上げ致しますので細心の注意を払って施工を行ってもホコリ等の付着ならびに細かな凹凸や幾つかのピンホール（針でついたような小さな穴）が発生してしまうことがあります。

この凹部、ピンホールにマーカーインクが入り込み消去性が低下するケースがあります。これは現場施工ならびに塗料の特性上防ぎようがありません事ご了承下さい。

別紙、アフターメンテナンスについて資料をご参照にて消去性を高めていただければドライイレースウォールを有効利用いただけます。

スケッチペイントの特性（他素材との比較）

	スケッチペイント	市販ホワイトボード	ホワイトボードシート
シームレス大面積ボード作成	○	×	×
デザインの自由度が高い	○	×	△
曲面施工	○	×	○
壁に穴をあけずに設置出来る	○	×	△
表面に多少凹凸が出来る	△	○	○
ピンホールが出来る	△	○	○
施工時のホコリ付着	△	○	○

※スケッチペイント△表記につきましては現場環境ならびに施工会社により異なります。